

みなとまちプロジェクト The Port City Project



清水での実装を通したブランディング・エッセンスの魅力発信 Spreading the attraction of Shimizu, "branding essence," through field activities

みなとまちプロジェクトは、清水というみなとまちにフォーカスし、その継続的な調査およびエリアブランディングに向けたまちづくり活動を行うプロジェクトです。地域の魅力を抽出した「ブランディング・エッセンス」を活かし、地域の人同士や清水を訪れる人との交流の活性化や地域産業の発展を目指しています。今年度は、昨年度も行ってきた「Shizuoka Teatism」「清水次郎長」「チャバコシカケ」の3つの活動に加えて、プロジェクトの活動を紹介する動画制作も行い、清水ならではの魅力をより伝えることに力を入れました。

Shizuoka Teatism班では、7月に横浜ビブレ前で実施された「さすてなぶる縁日」に参加し、有機栽培茶を販売しました。また、11月に清水の次郎長通り商店街で行われた「じろちょうマーケット」では、清水次郎長班が次郎長茶の販売と清水次郎長の功績を伝える資料の展示を、チャバコシカケ班が茶箱ベンチの実験的な設置を行いました。活動を通して現地の人々と関わり、反応を見ることで、自身の活動が地域と結ばれているという実感を持つことができました。

活動全体を通しては、昨年オンラインの状況下で取り組んだ制作物を活かしつつ、それぞれのブランディング・エッセンスの発信を強化できた1年でした。来年度以降は、お茶の販売のオンライン化や茶箱と次郎長茶のコラボレーションなどを通して、清水の魅力を発信する方法を模索していきます。

■学生：19名（氏名：菊池優太郎、鈴木佳織、西藤悠馬、一居成、深尾祐太朗、三島優一、山口大輔、西井綾美、西森颯、廣瀬亜紀、横田陸、梅田絹子、岡田秀永、柏晴瑠、菊地智代、駒井佑作、辻花琳、中田宙希、名倉あかり / 担当教員：志村真紀

■連携・協力：常葉大学、東京大学、九州大学、茨城大学、静岡理科大学、静岡市経済局海洋文化都市推進本部、静岡県清水港管理局、ぬくもり園、次郎長と港を活かした清水活性化協議会

■活動地域：静岡県静岡市清水区

■サイト：<https://www.ynu-minatomachipj.com>